

高齢者看護学演習

単位数：2単位

○原 祥子：地域・老年看護学講座教授
加藤 真紀：地域・老年看護学講座准教授
竹田 裕子：地域・老年看護学講座講師

1. 科目の教育方針

各自の関心領域における看護ケアの実施・参加観察・実験・調査等を踏まえた実践的検討および文献の批判的考察による理論的検討を通して、疾病や障害をもつ高齢者の生活に生起する現象の探究、保健・医療・福祉施設や在宅で生活する高齢者とその家族への看護モデルの開発を目指した研究方法を追究する。

2. 教育目標

- 1) 高齢者看護における国内外の研究の動向を把握する。
- 2) 自己の問題意識と追究課題を絞り込む。
- 3) 自己の研究課題の位置づけについて、看護実践の改善や看護モデル開発の視点で捉える。
- 4) 研究方法を具体化させるプロセスを理解する。
- 5) 高齢者看護研究における倫理的側面を理解したうえで、効果的に研究を推進していくための方法を修得する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

【評価】

プレゼンテーション内容、討論での取り組みと貢献度等により総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

テキストは指定しない。参考文献等を適宜提示する。

【参考文献】

- 1) 横山美江編：よくわかる看護研究の進め方・まとめ方－エキスパートをめざして，医歯薬出版，2005.
- 2) グレグ美鈴，他：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方，医歯薬出版，2007.

5. 教育内容

回	内 容	講師
1・2	高齢者看護における国内外の研究動向	原・加藤 竹田
3・4	関心領域における高齢者看護事例の実践的検討（1）	原・加藤 竹田
5・6	関心領域における高齢者看護事例の実践的検討（2）	原・加藤 竹田
7・8	関心テーマにおける文献検討（1）	原・加藤 竹田
9・10	関心テーマにおける文献検討（2）	原・加藤 竹田
11・12	関心テーマにおける文献検討（3）	原・加藤 竹田
13・14	問題意識と追究課題の検討（1） 追究課題の背景	原・加藤 竹田
15・16	問題意識と追究課題の検討（2） 追究課題に関連する先行文献のレビュー	原・加藤 竹田
17・18	問題意識と追究課題の検討（3） 課題の追究に必要なかつ有効な諸理論の検討	原・加藤 竹田
19・20	研究課題に適した研究方法の検討（1）	原・加藤 竹田
21・22	研究課題に適した研究方法の検討（2）	原・加藤 竹田
23・24	高齢者看護研究に必要な倫理的配慮の検討	原・加藤 竹田
25・26	研究計画書の作成	原・加藤 竹田
27・28	研究計画書の発表・討論（1）	原・加藤 竹田
29・30	研究計画書の発表・討論（2）	原・加藤 竹田